

## 日本観光研究学会観光研究特集号 最終原稿提出時チェックリスト（レイアウト制限なし 利用者用）

※本チェックリストは「観光研究特集号論文フォーマット（レイアウト制限なし）」をご利用された方用のチェックリストとなります。「観光研究特集号論文フォーマット（レイアウト制限あり・推奨）」をご利用された方は「日本観光研究学会観光研究特集号 最終原稿提出時チェックリスト（レイアウト制限あり 利用者用）」をご利用ください。

※最終提出の前に必ず以下を各自でチェックしてください。

### (1)ページ数・行数・字数

- 原稿は 6～10 ページである。
- 本文のヨコ文字数は 23 字である。
- 本文の行数は 43 行である（1 ページ目は要約の分量によって変わります）。

### (2)余白のサイズ

- 余白は 上 30 ミリ、下 23 ミリ、左右は 23 ミリ、段の間隔は 6 ミリである。

### (3)使用フォント、サイズ

- 和文表題：明朝体、14 ポイント、太字、左寄せ
- 英文表題：Times New Roman、11 ポイント、左寄せ
- 和文副題：明朝体、12 ポイント、太字、両端にハイフンを付ける、左寄せ
- 英文副題：Times New Roman、11 ポイント、両端にハイフンを付ける、左寄せ
- 著者名：明朝体、10 ポイント
- ローマ字氏名：Times New Roman、10 ポイント
- 所属：明朝体、10 ポイント
- 日本語要約：明朝体、9 ポイント
- 日本語キーワード：明朝体、10 ポイント
- 英語キーワード：Times New Roman、10 ポイント
- 本文見出し：ゴシック体、10 ポイント
- 本文：明朝体、10 ポイント
- 図・表・写真タイトル：ゴシック体、10 ポイント
- 補注、引用・参考文献、謝辞、付記の見出し：ゴシック体、9 ポイント
- 補注、引用・参考文献、謝辞、付記の本文：明朝体、9 ポイント
- 英語要約：Times New Roman、9 ポイント

#### (4)記載事項・記載方法

- 和文表題・英文表題がともに記載されている。
- 英文表題はキャピタリゼーション（前置詞・冠詞・接続詞等以外の各単語の語頭を大文字）されている。
- 著者名・ローマ字氏名がともに記載されている。
- 著者名、ローマ字氏名ともに姓・名の順で記されている。
- 所属は著者名末尾の「\*」、「\*\*」などと正確に対応している。
- 所属の記載は1ページ目の下端部に10ポイントで記載されている。
- 所属は簡潔に記載されている（下端部に氏名が記載されている、2行に渡る、役職が記載されている、といったことがない）。
- 代表者のメールアドレスが記載されている。
- キーワードは3、4語となっている。区切り文字が「、」になっている。
- キーワードの日本語には英訳（固有名詞以外の単語頭は小文字になっている）、英語には日本語訳が付されている。
- キーワードの行端は要約と揃え、本文から左右2字分さげている。
- 日本語要約は表題、著者名の下に記載されている。
- 要約は4行以上6行以内となっており、本文の左右行端からそれぞれ2字分下がっている。
- 要約文の冒頭に「要約」と表記していない。また、要約は字下げをしない。
- 補注、引用・参考文献は文末にまとめて記載されている（各ページの脚注となっていない）。
- 図表は文字が読めるサイズで、視認できるよう鮮明に表示してある。
- 図や表は、ページの上端（天）または下端（地）に配置し、ページの中央には配置しない。
- 図・写真タイトルのタイトルは下に、表のタイトルは上に、センタリングして配置されている。
- 本文見出しあは章（1. 2. 3.）、節（(1) (2) (3)）、項（1 2 3）と振られている。
- 章と章の間は1行あけてある。
- 補注の番号は本文の該当箇所の右肩に<sup>(1) (2) (3)</sup>と振られている。
- 引用・参考文献は本文の該当箇所の右肩に<sup>1) 2) 3)</sup>と振られている。
- メールアドレスやURLのハイパーリンクは解除されている。

#### (5) PDFの書き出し

- フォントを埋め込むためのオプションを設定（有効に）している。
- 「Microsoft Print to PDF」、「QuartsPDF Context」以外を使用してPDFに変換している。

(6) その他

- 連名で投稿する場合は、著者の合計を4名以内とし、第一著者は本学会の正会員、準会員または名誉会員であること。
- システムの投稿フォームと原稿の著者数が一致していること。
- 不要なページ番号を記載していない。
- 謝辞と付記は併記されておらず、どちらか一方のみが記載されている。
- 論文は独立性を有し、完結性の高いものとなっており、題目には「その1」などと付けていない。
- 論文は、研究の途中経過ではなく、結論まで示された完結した内容であること。
- フォーマット内の吹き出しの注釈が削除されている。